

科目名	ミュージカル実習Ⅱ							年度	2025
英語科目名								学期	後期
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必／選	選	時間数	70	単位数	2	種別※	実習+実技
担当教員			教員の 実務経験			実務経験の 職種			
【科目の目的】									
歌唱に必要なウォーミングアップを行い、その後スコアを基に読譜し、様々なスタイルの歌唱を行う。歌いやすい曲で基礎力を養い、ミュージカルナンバーやコーラス曲、日本のポップスなど色々なジャンルの歌唱スタイルを学んでいく。課題曲に応じてソロ歌唱、グループ歌唱を適宜取り入れる。人前での自己表現・自己アピールを習慣化し、表現力を養い、観客に伝える力を身につけていく。									
【科目の概要】									
前期・後期を通して、台本解釈、役の理解、歌唱指導、振付を学び、1本のミュージカルを完成させる。									
【到達目標】									
ミュージカルを製作するにはストレートプレーの3倍以上の時間、労力を要する。芝居、歌、踊り、一つ一つの要素をマスターしていきながらその集合体を創り上げる。									
【授業の注意点】									
ウォーミングアップ、歌唱練習に支障のない動きやすい服装で授業に臨むこと。授業中の私語や受講態度等には厳しく対応する。社会への移行、実践で活かすことに留意し、課題の予習復習と体調管理の継続性を意識した態度で参加することを求める。授業数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1				
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A	さまざまなジャンルの楽曲を、高度なテクニックと表現力で歌いこなす。	さまざまなジャンルの楽曲を、安定した発声で歌いこなす。	基本的な発声法を習得し、楽曲を歌うことができる。	課題曲の一部に不安定な部分が見られる。基本的な発声法が定着していない部分がある。	課題曲の全体を通して不安定で、楽曲の表現力が不足している。				
到達目標 B	楽譜を正確に読み取り、複雑な音楽用語の意味を理解し、即興演奏やアレンジにも応用できる。	楽譜を正確に読み取り、音楽用語の意味を理解し、楽曲を正確に演奏できる。	楽譜を比較的正確に読み取ることができ、一般的な音楽用語の意味を理解している。	際に誤りが見られる。一部の音楽用語の意味が不明確な部分がある。	楽譜を読むことが困難であり、音楽用語の意味を理解していない。				
到達目標 C	ヴォーカル基礎を完全に習得し、高度な表現力で観客を魅了する。	ヴォーカル基礎をしっかりと習得し、人前で感情豊かに表現できる。	ヴォーカル基礎をある程度習得し、楽曲を表現できる。人前で歌うことに慣れてきている。	ヴォーカル基礎が定着しておらず、表現力が不足している。人前で歌うことに不安がある。	ヴォーカル基礎が身についておらず、人前で歌うことが難しい。				
到達目標 D	ミュージカル業界の動向を深く理解し、最新のトレンドを意識した歌唱スタイルを確立している。	ミュージカル業界の動向に関心を持ち、時代のニーズに対応した歌唱スタイルを意識している。	ミュージカル業界の動向についてある程度の知識を持っている。	ミュージカル業界の動向について関心が薄く、時代のニーズへの意識が低い。	ミュージカル業界の動向についてあまり知らない。				

到達目標 E		遅刻・欠席をしない	遅刻はあるが欠席は少ない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い	遅刻・欠席が非常に多い	
【教科書】 レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。							
【参考資料】							
【成績の評価方法・評価基準】 小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。							
科目名		ミュージカル実習Ⅱ				年度	2024
英語表記						学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	立ち稽古	歌唱力、演技力、ダンスの基礎		キャラクター分析	配役された役のキャラクター分析		
				歌唱	歌唱を実践		
				振り付け	振り付けを正確に覚える		
2	立ち稽古	歌唱力、演技力、ダンスの基礎		照明、音響との連携	演技力の向上		
				衣装、小道具	衣装、小道具の使用		
				ダンスレッスン	ダンスの質の向上		
3	課題曲録音	歌唱力向上		課題曲のレッスン	課題曲を表現できる		
				多様な表現技法	多様な表現技法を実践		
				課題曲の録音	課題曲の録音と分析		
4	課題曲録音	歌唱力向上		課題曲のレッスン	課題曲を表現できる		
				多様な表現技法	多様な表現技法を実践		
				課題曲の録音	課題曲の録音と分析		
5	通し稽古	演技の完成		演技の表現	細やかな演技の実践		
				舞台上の動き	音楽と演技を一体化させる		
				連携強化	掛け合いのシーンの強化		
6	通し稽古	演技の完成		演技の表現	細やかな演技の実践		
				舞台上の動き	音楽と演技を一体化させる		
				連携強化	掛け合いのシーンの強化		
7	場当たり	舞台全体の完成度を高める		最終調整	演技の最終調整の実施		
				表現の改善	表現の改善の実施		
				場当たり	演技と音響、照明などの場当たり		
8	GP	ゲネプロの実施		通し稽古	通し稽古の準備		
				最終確認	ゲネプロの準備		
				ゲネプロ	ゲネプロの実施		
9	発表	本番の発表		本番準備	本番発表の準備		
				最終確認	最終の修正		
				本番準備	本番の発表		
10	まとめ	後期のまとめ		後期授業のまとめ	ミュージカルにおいての総合表現		

11							
12							
13							
14							
15							
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							